



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月29日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東
 コード番号 7309 URL http://www.shimano.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 井上 伸宏 (TEL) 072-223-3254
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日 配当支払開始予定日 平成26年9月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	156,322	17.4	30,397	43.2	29,115	18.0	20,784	16.9
25年12月期第2四半期	133,106	7.7	21,229	△3.0	24,681	13.8	17,782	16.6

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 15,533百万円(△53.8%) 25年12月期第2四半期 33,631百万円(107.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	224.20	—
25年12月期第2四半期	191.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	333,770	282,455	84.3
25年12月期	319,223	270,914	84.6

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 281,489百万円 25年12月期 269,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	43.50	—	43.50	87.00
26年12月期	—	52.50	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	52.50	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 26年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 46円25銭

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	14.4	58,000	38.8	57,000	19.9	41,000	16.8	442.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年12月期2Q	92,720,000株	25年12月期	92,720,000株
26年12月期2Q	14,851株	25年12月期	14,538株
26年12月期2Q	92,705,280株	25年12月期2Q	92,706,404株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は欧州では個人消費を中心に内需型の緩やかな景気回復基調を辿りました。6月に入りユーロ高に加えてウクライナ情勢への懸念、原油価格の上昇等の影響により、特に製造業セクターでの減速が目立ちました。米国では雇用の量的改善とともに個人消費が拡大し、企業活動の回復が中小企業にまで広がってきました。

国内においては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が見通しより小幅にとどまったものの、景況感は6四半期ぶりに悪化しました。輸出については、海外経済が期待ほど上ぶれなかったため、内需の落ち込みを穴埋めするほどには至りませんでした。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は156,322百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益は30,397百万円（前年同期比43.2%増）、経常利益は29,115百万円（前年同期比18.0%増）、四半期純利益は20,784百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

欧州では5月の天候不順による一時的な販売の落ち込みはあったものの、暖冬による冬季の好調な販売にも支えられ、上半期の小売店での販売は好調に推移しました。米国では非常に厳しい冬という状況下で販売開始が遅れたものの、上半期の小売店での販売は例年並みで終わりました。日本では厳しい冬にも関わらず、小売店でのスポーツタイプ自転車や中高級価格帯軽快車の販売は好調に推移し、消費税増税後も堅調でした。また、中国市場におけるスポーツタイプ自転車は引き続き力強い成長を続けており、他の新興国市場においても堅調な伸びを示しています。

なお、市場在庫については、各地域ともに低めあるいは適正範囲内で推移しております。

このような市況のもと今後の市場動向への期待感に加え、円安による当社製品に対する割安感の追い風を受けたことから多くの注文をいただき、加えてマウンテンバイクコンポーネントの「Alivio」、同じくエントリーモデルの「Tourney XT」、ロードバイクコンポーネントの「105」をはじめとする新製品の販売も順調に推移し、第2四半期の売上は予定どおり達成することができました。

この結果、当セグメントの売上高は125,709百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は28,167百万円（前年同期比38.7%増）となりました。

② 釣具

国内市場では、消費税増税の影響で一時的に高額商品を中心に購入を控える動きが見られたものの、5月6月の好天により各地で釣果を耳にするようになるとともに、普及価格帯商品を中心に消費は回復傾向となってまいりました。当社製品においてはスピニングリールを中心に市場での動きが堅調に推移した結果、前年の売上を上回る結果となりました。

一方、海外市場では、新製品の投入効果もあり、欧米市場、豪州市場においても小売店への販売は順調に推移しました。また、アジア市場をはじめとする新興市場においても積極的な販売活動を実施しました。

この結果、当セグメントの売上高は30,404百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益は2,237百万円（前年同期比125.7%増）となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は207百万円（前年同期比8.4%増）、営業損失は7百万円（前年同期は営業損失65百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は333,770百万円(前連結会計年度比14,546百万円の増加)となりました。これは、建物及び構築物が6,061百万円、現金及び預金が2,369百万円、仕掛品が2,367百万円、その他流動資産が2,175百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は51,314百万円(前連結会計年度比3,005百万円の増加)となりました。これは、未払法人税等が1,683百万円、その他流動負債が1,251百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は282,455百万円(前連結会計年度比11,540百万円の増加)となりました。これは、利益剰余金が16,752百万円増加し、為替換算調整勘定が5,016百万円減少したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、129,277百万円(前連結会計年度比3,410百万円の増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、26,563百万円の収入(前年同期は24,196百万円の収入)となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益28,373百万円、減価償却費6,260百万円等によるものです。また主な支出要因は法人税等の支払額6,034百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、15,143百万円の支出(前年同期は12,296百万円の支出)となりました。主な支出要因は有形固定資産の取得による支出12,750百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,297百万円の支出(前年同期は2,878百万円の支出)となりました。主な支出要因は配当金の支払額4,033百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、欧州は輸出・設備投資主導の改善傾向で推移しているものの、南欧諸国の景気低迷によりペースは緩やかなものとどまる見通しです。一方、アジア圏は緩やかな景気拡大が見込まれるものの、中国は過剰投資是正の影響で減速傾向が続くものと予想されます。米国経済は堅調に推移し、雇用の拡大が見込まれます。

国内においては、政府の経済対策や家計の底堅い消費に支えられ、消費税増税による景気の反動減は一時的ととらえています。輸出では、海外経済の回復や円安を背景に増加傾向にあるものの、本格的な回復は見込みにくい状況と予想されます。

このような経営環境の中、当社グループは、国内外の経済動向に注視しつつ、経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

なお、平成26年4月22日に公表いたしました当期の連結業績予想につきましては、これを修正し、売上高310,000百万円、営業利益58,000百万円、経常利益57,000百万円、当期純利益41,000百万円とさせていただきます。

また、当社グループは株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、今回の中間配当金につきましては、前年同期から9円増配の1株当たり52円50銭(うち特別配当46円25銭)とさせていただきます。なお、当期の年間配当額についても、前期から18円増配の1株当たり105円を予定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、Shimano Menat Spor Etkinlikleri Spor Malzemeleri ve Ekipmanlari Ticaret Limited Sirketi 及 び Shimano Bisiklet Parca ve Ekipmanlari Satis Servis Ticaret Anonim Sirketiについては新規設立により、Douglas Johnson & Co Limitedについては株式の取得により、連結範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	128,796	131,165
受取手形及び売掛金	30,899	31,866
商品及び製品	28,293	28,530
仕掛品	17,145	19,512
原材料及び貯蔵品	4,718	5,105
繰延税金資産	2,718	2,527
その他	3,464	5,639
貸倒引当金	△296	△241
流動資産合計	215,740	224,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,988	36,049
機械装置及び運搬具(純額)	16,844	15,909
土地	11,814	12,638
リース資産(純額)	30	42
建設仮勘定	11,283	9,584
その他(純額)	4,836	5,185
有形固定資産合計	74,798	79,411
無形固定資産		
のれん	3,997	4,340
ソフトウェア	2,834	2,848
その他	5,604	5,504
無形固定資産合計	12,437	12,693
投資その他の資産		
投資有価証券	12,361	11,890
繰延税金資産	1,280	1,774
その他	3,071	4,390
貸倒引当金	△465	△495
投資その他の資産合計	16,247	17,559
固定資産合計	103,482	109,664
資産合計	319,223	333,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,935	12,869
短期借入金	6,130	5,848
未払法人税等	5,593	7,277
繰延税金負債	315	261
賞与引当金	1,524	1,397
役員賞与引当金	184	91
工場建替関連費用引当金	596	44
その他	14,278	15,529
流動負債合計	40,559	43,318
固定負債		
長期借入金	3,159	2,791
繰延税金負債	1,051	985
退職給付引当金	2,710	3,478
その他	827	741
固定負債合計	7,749	7,996
負債合計	48,308	51,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,822	5,823
利益剰余金	204,388	221,140
自己株式	△58	△62
株主資本合計	245,765	262,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,080	2,842
為替換算調整勘定	21,149	16,132
その他の包括利益累計額合計	24,229	18,974
少数株主持分	919	966
純資産合計	270,914	282,455
負債純資産合計	319,223	333,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	133,106	156,322
売上原価	84,907	95,596
売上総利益	48,198	60,725
販売費及び一般管理費	26,968	30,328
営業利益	21,229	30,397
営業外収益		
受取利息	436	457
受取配当金	131	681
為替差益	3,058	—
その他	215	444
営業外収益合計	3,841	1,583
営業外費用		
支払利息	158	168
為替差損	—	2,040
その他	231	656
営業外費用合計	390	2,865
経常利益	24,681	29,115
特別損失		
工場建替関連費用	334	742
特別損失合計	334	742
税金等調整前四半期純利益	24,346	28,373
法人税、住民税及び事業税	6,495	7,787
法人税等調整額	10	△239
法人税等合計	6,505	7,548
少数株主損益調整前四半期純利益	17,840	20,824
少数株主利益	58	40
四半期純利益	17,782	20,784

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,840	20,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,451	△238
為替換算調整勘定	14,338	△5,053
その他の包括利益合計	15,790	△5,291
四半期包括利益	33,631	15,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,473	15,529
少数株主に係る四半期包括利益	157	3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	24,346	28,373
減価償却費	5,948	6,260
受取利息及び受取配当金	△568	△1,138
支払利息	158	168
為替差損益(△は益)	△1,492	1,415
売上債権の増減額(△は増加)	946	△1,287
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,570	△3,844
仕入債務の増減額(△は減少)	61	1,117
退職給付引当金の増減額(△は減少)	77	781
工場建替関連費用引当金の増減額(△は減少)	—	△552
工場建替関連費用	334	742
有形固定資産除売却損益(△は益)	70	34
未払賞与の増減額(△は減少)	1,545	1,412
その他	△1,618	△1,360
小計	31,380	32,122
利息及び配当金の受取額	583	647
利息の支払額	△158	△170
法人税等の支払額	△7,608	△6,034
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,196	26,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△416
定期預金の払戻による収入	—	1,315
有形固定資産の取得による支出	△11,301	△12,750
無形固定資産の取得による支出	△1,168	△1,618
工場建替関連費用の支払額	△210	△1,074
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△943
その他	384	344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,296	△15,143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,029	761
長期借入金の返済による支出	△1,418	△1,065
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6	△5
自己株式の取得による支出	△6	△4
配当金の支払額	△3,476	△4,033
少数株主からの払込みによる収入	—	48
その他	△0	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,878	△4,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,881	△3,712
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,903	3,410
現金及び現金同等物の期首残高	94,809	125,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	112,712	129,277

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職給付引当金の割引率の変更)

当社は、期首時点の計算において適用した割引率は2.0%でしたが、当第2四半期末時点において再検討を行った結果、割引率の変更により退職給付債務の額に影響を及ぼすと判断し、割引率を1.5%に変更しております。これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1,055百万円減少しております。なお、報告セグメントに与える影響については、当該箇所に記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	106,096	26,818	191	133,106	—	133,106
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	106,096	26,818	191	133,106	—	133,106
セグメント利益又は損失(△)	20,304	991	△65	21,229	—	21,229

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	125,709	30,404	207	156,322	—	156,322
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	125,709	30,404	207	156,322	—	156,322
セグメント利益又は損失(△)	28,167	2,237	△7	30,397	—	30,397

(注) 1 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 (追加情報)に記載の通り、当第2四半期連結会計期間末に退職給付引当金の割引率の変更を行っております。この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は「自転車部品」で745百万円、「釣具」で282百万円それぞれ減少し、「その他」のセグメント損失は27百万円増加しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。